

留 学 報 告 書

記入日:2020年1月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ノーザン州立大学 現地言語: 英語
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年12月21日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月～12月 2 学期:1月～5月 3 学期: 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	3500
創立年	1901

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	2400	240000円	
食費	1500	150000円	
図書費	200	20000円	
学用品費	30	3000円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	500	50000円	
被服費		円	
医療費	(1000)	0円	保険適用により無料
保険費	1000	100000円	形態:明治+現地
渡航旅費	2100	210000円	日本—アメリカ間
ビザ申請費	300	30000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	8030	803000円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:東京 目的地:ミネアポリス 経由地:シカゴ
 復路 出発地:ミネアポリス 目的地:東京 経由地:ワシントンDC/ニューヨーク

渡航費用

- ①往復チケットを購入した場合
 航空会社:アメリカン航空
 料金:200ドル
- ②片道ずつチケットを購入した場合
 往路 航空会社: _____ 料金: _____
 復路 航空会社: _____ 料金: _____ ∴合計: _____

航空券購入方法

旅行代理店(店名: _____) インターネット(サイト名:エアトリ) その他(_____)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート,大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:McArthur-Welsh Hall) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 _____)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学からのメール、ホームページ

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学で最も歴史ある寮なので設備は古かったが、1人部屋なのでとてもくつろげた。1人部屋を指定することはできないので、希望する場合は、1人部屋のある寮を選択して、アンケートで集団生活が苦手なふりをして回答すればよい。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院,学内の診療所)

なし
 あり(治療を受けた場所:現地の病院)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口,現地の友人等)

なし
 あり(問題の内容や相談した人等: _____)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

大学から不審者情報のメールが1度送られてきた。現地の学生は催涙スプレーを持ち歩いていた。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

部屋ではつながりにくかったが、ラウンジ、寮の1階、教室などではつながりやすかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で米ドルに両替して持って行った。アメリカで口座を開設したが、国際送金には日本での本人確認が必要らしく、1度も利用しなかった。多めに現金を持っていくべきだと感じた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

米ドル、日本のお土産やお菓子

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamentals of Speech	スピーチ
科目設置学部・研究科	Speech Communication
履修期間	2019 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	Johnson Julie
授業内容	学生のスピーチ、次回のスピーチの説明。月に2回程度スピーチをする。
試験・課題など	課題はスピーチの準備、試験はパソコンを用いて選択形式
感想を自由記入	授業は教授より学生が前に出ている時間のほうが長く、各学生の課題の発表場所であった。アメリカ人や他の留学生の前で英語でスピーチをするのはとても緊張したが、そのぶん達成感や留学している感があつた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
United States History II	アメリカ史
科目設置学部・研究科	History
履修期間	2019 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Dias Ric
授業内容	アメリカの歴史について。市民戦争から現代まで。
試験・課題など	試験はエッセイと短文記述。課題図書のリポートが1回。
感想を自由記入	教授がとても面白く、英語も理解しやすく授業が楽しかった。留学生の履修者も多く、距離が近くて大勢で自宅に招かれることもあつた。留学生向けに現地学生とは違う課題を出してください。教授とは反対に、授業の内容は一番難しく、2度の試験は準備、本番ともに大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Social Work	社会福祉
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	2019 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Brown Lisa
授業内容	アメリカ合衆国における社会福祉の歴史、ソーシャルワーカー、社会問題について
試験・課題など	試験は選択、短文記述。課題はレポートが2回。
感想を自由記入	教授の英語は早口で聞き取りづらかったが、教科書や授業のサイトに内容や提出物について載っているので、苦労はしなかった。質問には優しく答えてくれて、留学生への配慮がある教授だと感じた。ゲストスピーカーが来ることも多く、おじさんの警察官2人の授業は面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introductory Chinese I	中国語初級
科目設置学部・研究科	Chinese
履修期間	2019
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Jiang Changseg
授業内容	会話、文法、漢字
試験・課題など	試験は記述と口頭。課題は音読の録音と漢字の書き取り。
感想を自由記入	中国人の教授がとても優しく、学生に合わせたペースで授業を進めてくださった。自分が漢字を知っているということもあり、進度が遅いと感じることもあった。中国語に興味のある人は、これに加えて Intermediate Chinese を取るといいと思います。中国語の歌や、最後の授業で行われた各学生が食べ物を持って行くパーティーを通して現地学生との交流を深めることができた。ずっと、授業ではなくて遊んでいる感じになるほど楽しかった。週4行くのが楽しみだった。それでも中国語はしっかり身に付きました。取る授業に迷っている人におすすめです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intermediate Chinese	中国語中級
科目設置学部・研究科	Chinese
履修期間	2019 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Jiang Changseg
授業内容	文法、音読
試験・課題など	試験は記述と口頭。課題は音読の録音。
感想を自由記入	Introductory Chinese とは違い、難易度が急に上がった。それでも授業は和気あいあいとした雰囲気が進み、楽しかった。中国語をゼロから始めたので最初はついていけなかったが、自習で追いついた。授業後に先生と一緒に帰る時の会話が1番難しかった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL iBT
10月～12月	TOEFL iBT、留学申し込み、大学決定
2019年 1月～3月	留学オリエンテーション、英会話教室
4月～7月	6月:ビザ取得、航空券購入、ホテル予約 3～8月:予防接種
8月～9月	8月:買い出し、出発
10月～12月	10月:中間試験 12月:期末試験
2020年 1月～3月	1月:TOEIC L&R、S&W
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記(任意)

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

僕は、明治大学に入学した時点では留学など考えておらず、むしろそんな大変なことはやりたくない、という感じでした。しかし、留学を希望する学生との交流を通して、みんなの意識の高さに驚くとともに、自らの英語力を高め、また、ここで留学をしないと一生留学はできないのではないか、という思いから留学を決意しました。

出発前 1 番大変だったのは、明治大学への申請です。今でも思い返すのが嫌なくらい大量の書類を作成した記憶があります。しかし、友達と情報を交換したり、意識を高め合ったりして、乗り越えることができました。ここを過ぎれば後は楽しいのでみなさん頑張ってください。

実はこの大学は第 1 希望ではなく、留学先が決定してから他の大学を羨んでいましたが、いざ到着してみると、この大学にはこの大学のいいところがたくさんあり、また、田舎に位置していたということもあって、治安もよく、落ち着いた雰囲気、現地の方々も温かく迎えてくださり、住めば都という感じでした。現地の学生、他の留学生はとても優しく、彼らとの様々な交流も、ここには書ききれないくらい盛り沢山でした。帰国前には日本に戻りたくないという思いが強かったです。

留学先で苦労したことは、すべて日本での準備不足に起因しています。海外が初めてということもあり、ましてや留学という情報の少ない中で、荷造りを甘く考えていました。「必要なものは現地で買えばいい」という考えで出発しましたが、いざ必要なもの、例えば服や日用品などは必要な時に無く、不必要なものがスーツケースで幅を取るということもありました。これは、自分の大学の近くにお店がなかったというのが理由なので、出発前には早めに地域の気温やお店へのアクセスなどの情報を収集することをお勧めします。また、現金や日本のものはすぐ手に入れることが不可能なので、多めに調達していくと安心です。友達の友達がお店まで運転してくれるなどということも多々あったので、交友関係を広く持つべきだと感じました。また、Instagram、Snapchat、Facebook など無料の予防接種やイベントの案内、記念写真などが流れてくるので、早めにインストールしましょう。

留学して 1 番思い出に残っていることは、目を負傷し、病院を 3 つ受診したことです。はしゃぎすぎないように気を付けてください。テスト期間に目が見えづらくなるという嫌な体験であった反面、現地の医者、看護師に症状などを英語で説明し、適切な処置をしてもらったことで、自分の英語力に自信を持つことができました。

もともと留学などしたくなかった僕ですが、半ば思い付きでの決定によって、一生忘れない経験をすることができました。今迷っている人は、ぜひ行くことをお勧めします。



